



情報提供資料

TDAMフoward・ルッキング・リサーチ

債券運用部 チーフ・ストラテジスト兼ファンドマネージャー 浪岡 宏, CFA

2023年6月19日

～日本株より投資妙味のある米国株～

外国人投資家の買いにより大きく上昇してきた日本株に対して筆者は投資妙味を感じていない。しかし、米国株については、米国経済の良好さとインフレの鈍化傾向を背景に投資妙味があるとみている。

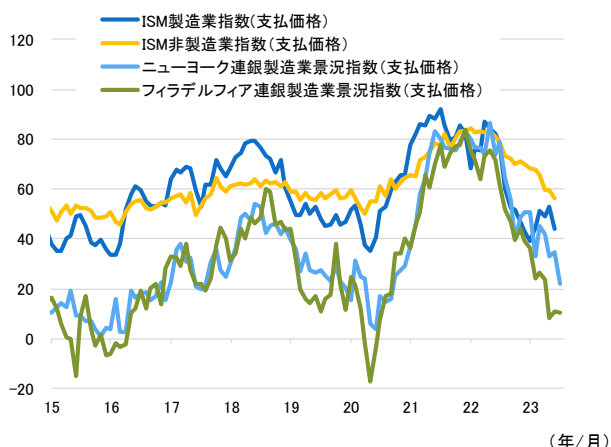
6月のニューヨーク連銀製造業景況指数は、6.6と前月の-31.8から大幅に改善した。フィラデルフィア連銀製造業景況指数は、-13.7と前月の-10.4から悪化したものの、市場予想の-14.0よりは悪化しなかった。筆者が簡便的な方法で6月のISM製造業指数を予想してみると、48.7前後になりそうだ。5月が46.9であったので、改善すると見込まれる。なお、両地区連銀指数とも支払価格指数が低下傾向であることは注目に値する。（グラフ①）

ハードデータに目を向けても、5月の消費者物価指数、生産者物価指数、輸入物価指数について、いずれも前年比でみれば伸び率が鈍化傾向にある。

一方で、5月の小売売上高は前月比0.3%増と堅調な伸びを示しており、ガソリンと自動車を除いたベースでも0.4%増と市場予想の0.2%増を上回る伸びを示した。前月部分については、0.5%増と速報値の0.6%増から下方修正されたが、それでも力強い伸びが続いていることが示唆されている。（グラフ②）

経済の底堅さはインフレ再燃につながる可能性もあり、その点には注意が必要だが、もしもインフレが落ち着く中で、経済活動が堅調であるとすれば、株価は大きく上昇するだろう。日本株の投資妙味が薄れている中、筆者は米国株に強い関心を持っている。

グラフ① 景況感における価格指数



期間：ISM製造業指数(支払価格)、ISM非製造業指数(支払価格)は2015年1月～2023年4月（月次データ）、ニューヨーク連銀製造業景況指数(支払価格)、フィラデルフィア連銀製造業景況指数(支払価格)は2015年1月～2023年6月（月次データ）

グラフ② 小売売上高



期間：2015年1月～2023年5月（月次データ）

出所：グラフ①、グラフ②ともに、BloombergのデータをもとにT&Dアセットマネジメントが作成